

2014年1月の金融経済概況のポイント

■景気の基調判断

➤景気判断は据え置きました。

—前月の「着実に持ち直している」との判断を継続しました。

■項目別の变化点

➤個人消費、住宅投資の判断を上方修正しました（その他項目は据え置きました）

項目	今回	従来
個人消費	回復に向けた動きが広がりつつある ※5か月連続の上方修正	回復に向けた動きが一部で明確になっている
住宅投資	持ち直しつつある ※11か月振りの上方修正	一進一退の動きとなっている

■今月の变化点、および基調判断を据え置いた理由

➤前月以降、消費、住宅、生産、雇用等の新たな経済統計が公表されましたが、いずれも「景気の着実な持ち直し」を裏付ける“良いデータ”が続いています。特に、消費の回復感が出始めているほか、住宅投資も持ち直しつつあります。このため、個別項目については一部引き上げました。

➤ただ、支出⇒生産⇒所得という一連の流れで構成される“経済の循環メカニズム”において、その回転にスピード感がついてきたというほどの印象はありません。雇用・所得環境において、回復に向けた動きが明確になっていないためです。

➤様々な産業界から聞こえてくる声も、明るいトーンの話が少しずつ増えてはいますが、「更にもう一段の改善」を示唆するほどの話は聞かれません。このため、基調判断は据え置きとしました。

■今月のポイント

①景況感は年明け後も維持

➤道北地域の企業の景況感は「緩やかな上向き」

——道北の経済は「縮む市場」と向き合いながら活動しています。緩やかな人口減少が続き、道北の経済規模がゆっくり縮みつつある中で、企業の売上げは簡単には増えません。加えて、企業間競争も厳しく、価格引下げ圧力が依然根強く残っています。結局、収益も中々伸びない状況が続いています。このため、経済に多少前向きの動きが加わっても「景気が良くなった」と実感しにくい経済構造です。

——しかし、現状は、薄皮を重ねるが如くではありますが、景気回復に向けての期待感が少しずつ積み重なってきています。また、先行きについても“不安感”よりも“回復感”を期待する声が緩やかに増えています。

➤消費税増税を控えながらも、マインドは崩れず

——企業や家計のマインドは、経済活動に少なからぬ影響を与えます。仮に「増税を契機に景気が失速する」との懸念が強まれば、企業や家計は、先行きの“下り坂”を織り込んで、足元の経済活動は委縮し始めます。一方、「増税の影響は限定的だ」との見方が維持されていますと、足元の経済活動はさほど委縮しませんし、先行きの設備投資計画や生産計画についても下方修正していこうという動きにつながりません。今は、消費税増税を踏まえた“マインドの変化”や“変化の芽”が出ていないかを、いつも以上に注視する場面かと思われそうですが、今のところマインドは維持されています。

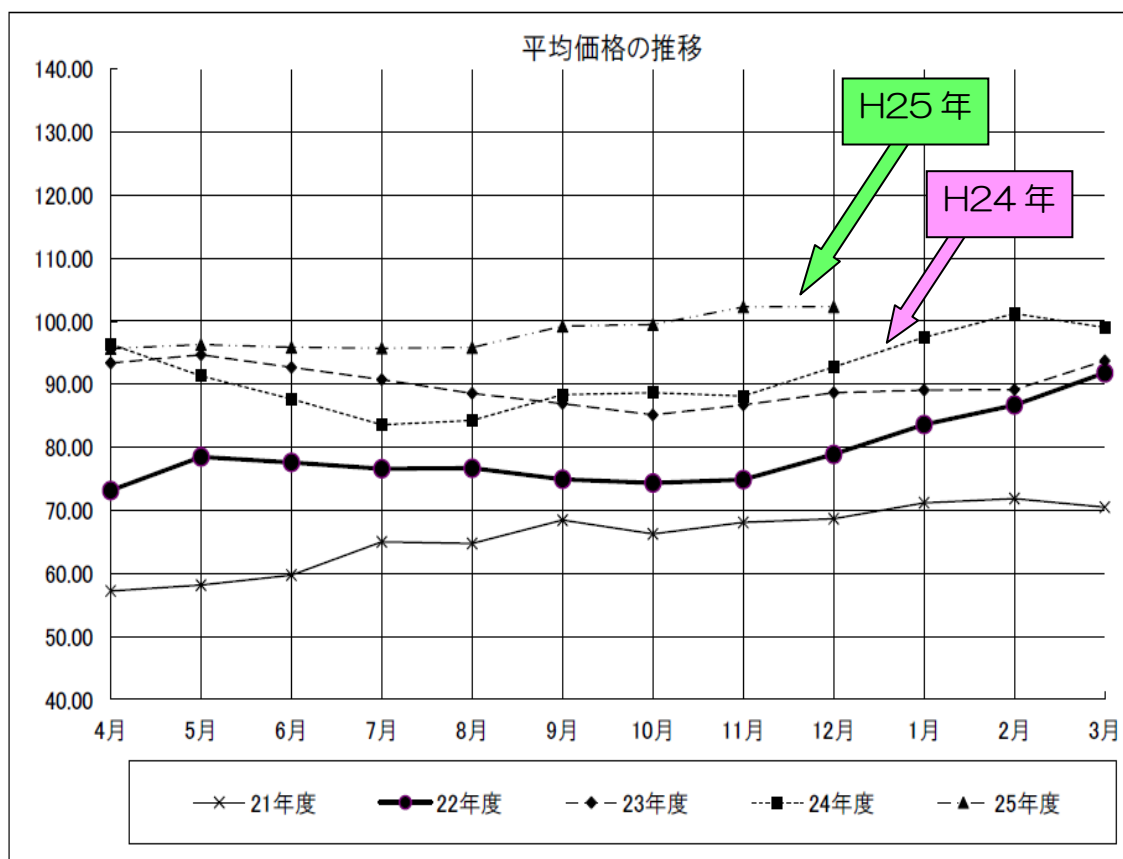
②物価上昇による“負の影響”は今のところ明確に見られず

➤北海道は、これまで物価上昇率が相対的に高めの伸びとなってきた地域だけに、「実質所得が目減りで、消費活動の委縮につながっていないか」が懸念されますが、今のところ、目立った影響は出ていません。

——北海道の11月消費者物価指数（除く生鮮食料品）の前年比は+1.3%と、全国平均（+1.2%）をやや上回るペースで高まっています。特に、足元は円安がじりじりと進んでいる中で、灯油価格・ガソリン価格上昇が目立ちます。道北地域は、家計消費に占める灯油等の構成比率が高く、物価指数に跳ねやすい土地柄です。心配なのは、こうした日常必需品の価格上昇によって、実質所得が目減りが起こり、消費活動が抑制されることはないかという点です。しかし、今のところ、デパートやスーパーの売上高（大型店売上高）に陰りは出ておらず、むしろ前年比プラスが継続し、回復に向けた動きがみられ始めています。今のところは、家計のマインドは維持されているものと思われます。

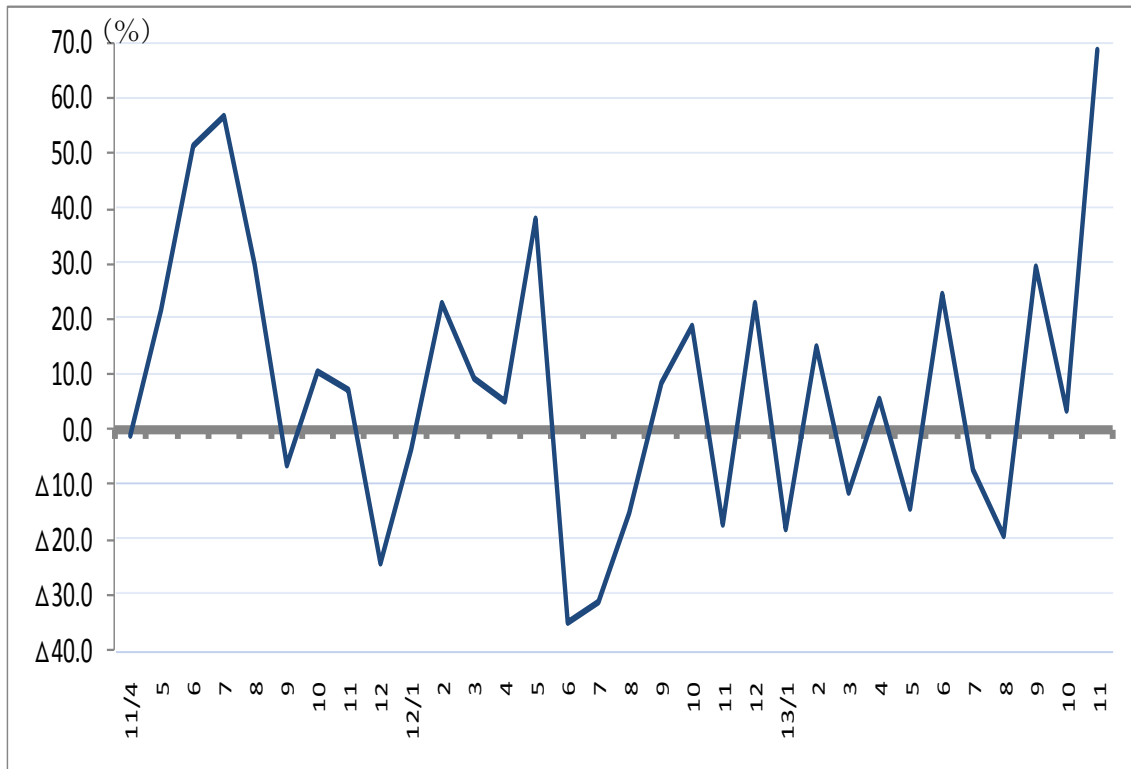
➤もっとも、昨日<1月9日>公表された日銀の生活意識に関するアンケート調査（2013/12月調査）では、個人の景況感DIが小幅ながら悪化しているだけに、今後、個人のマインドが下振れていかないかについて、引き続き注意深く見ていくことが必要です。

■灯油価格の推移（旭川市内平均価格）



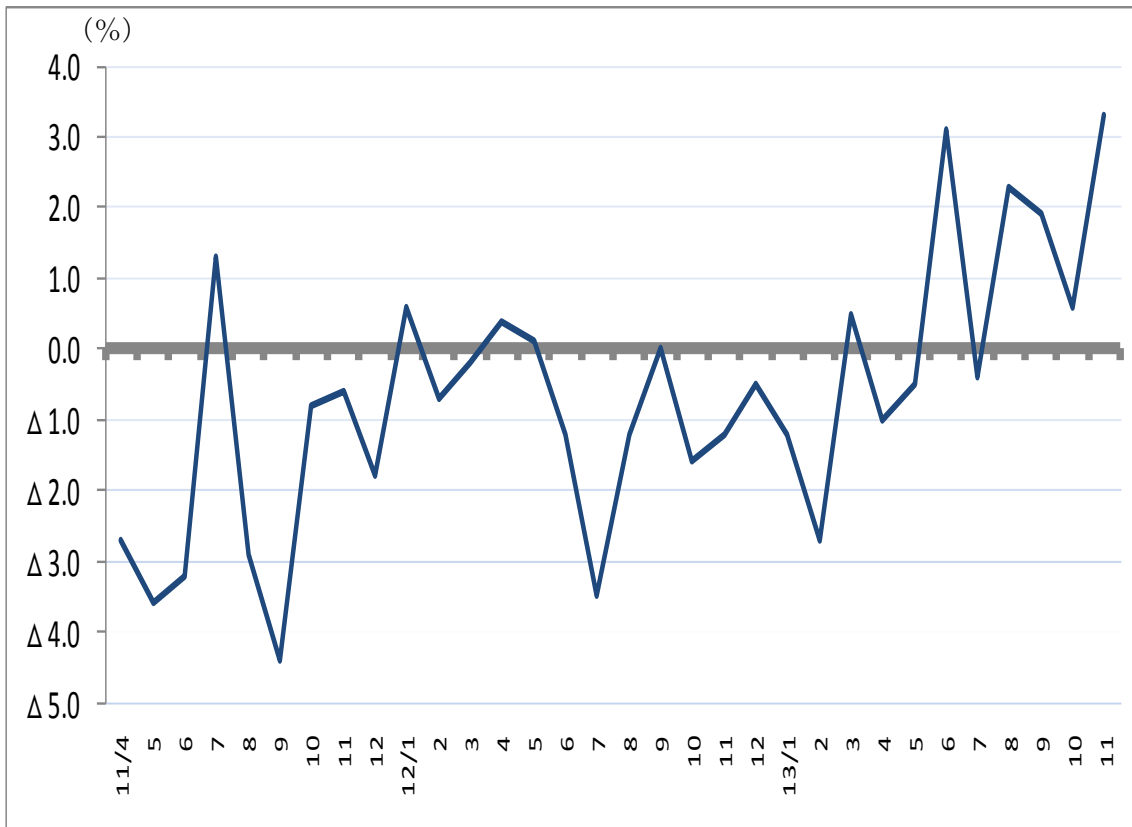
（出所）旭川市小売価格調査結果

■道北管内における新設住宅着工戸数の推移（前年比）



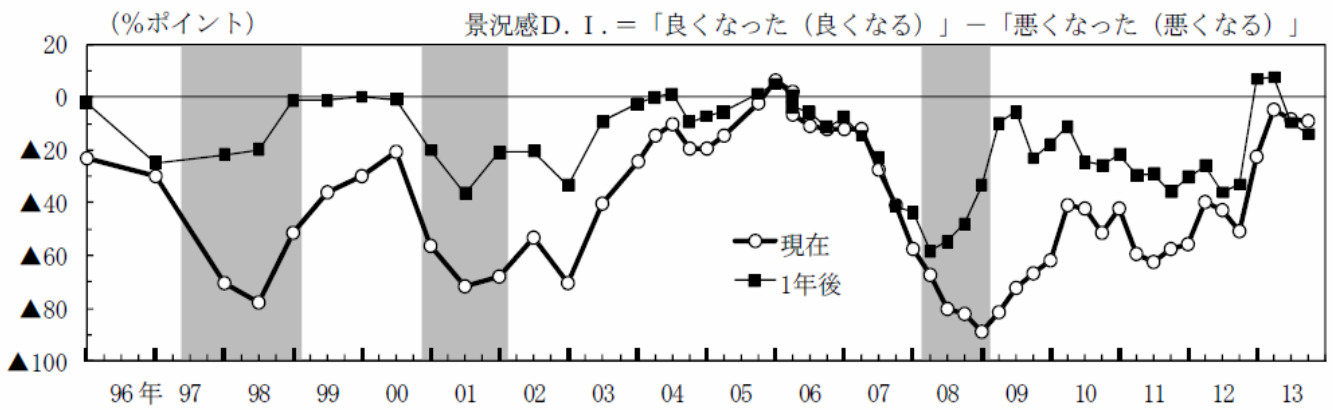
(出所) 国交省

■道北管内における大型店売上高（既存店）の推移（前年比）



(出所) 日本銀行旭川事務所

■個人の景況感 DI の推移



	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3	12/6	12/9	12/12	13/3	13/6	13/9	13/12
現在の景況感 D. I. (前回比)	▲42.3 (+9.4)	▲59.5 (▲17.2)	▲62.4 (▲2.9)	▲57.5 (+4.9)	▲55.6 (+1.9)	▲39.5 (+16.1)	▲43.1 (▲3.6)	▲50.6 (▲7.5)	▲22.6 (+28.0)	▲ 4.8 (+17.8)	▲ 8.3 (▲3.5)	▲ 9.2 (▲0.9)
1年後の景況感 D. I. (前回比)	▲21.7 (+4.2)	▲29.6 (▲7.9)	▲29.2 (+0.4)	▲35.9 (▲6.7)	▲30.4 (+5.5)	▲26.0 (+4.4)	▲36.1 (▲10.1)	▲33.1 (+3.0)	6.8 (+39.9)	7.5 (+0.7)	▲ 9.6 (▲17.1)	▲14.0 (▲4.4)

(出所) 日本銀行・生活意識に関するアンケート調査

以 上